

貝化石肥料・副産石灰肥料（貝殻を原料とするものに限る。）の指定配合肥料への使用拡大

1 改正の趣旨

- (1) 指定配合肥料においては、石灰質肥料及びけい酸質肥料（アルカリ性の肥料）について、他の肥料（酸性又は中性の肥料）と配合すると肥料成分の損失、成分形態の変化等の品質低下が起こるおそれがあるため、アルカリ性の肥料以外の肥料との配合が原則禁止されています。
- (2) ただし、石灰質肥料である炭酸カルシウム肥料のうち、粒状のものについては、粉末状のものに比べて他の配合原料との接触が少なく、品質低下を起こすおそれがないことが確認されたことから、例外的に、アルカリ性の肥料以外の肥料との配合が可能とされています。
- (3) 今般、石灰質肥料である貝化石肥料及び副産石灰肥料（貝殻を原料とするものに限る。）についても、炭酸カルシウムと同様に粒状にすることにより、粉末状のものに比べて他の肥料原料との接触が少なく、品質低下を起こすおそれがないことが判明したことから、アルカリ性の肥料以外の肥料との配合を可能としました。

2 改正の内容

- (1) 肥料取締法施行規則第1条第2号
アルカリ性の肥料以外の肥料と配合可能な石灰質肥料として、「農林水産大臣が指定する炭酸カルシウム肥料」を「農林水産大臣が指定するもの」と改めます。
- (2) 肥料取締法施行規則第1条第2号の規定に基づき、農林水産大臣が指定する炭酸カルシウム肥料を定める件（平成28年12月29日農林水産省告示第2532号）
肥料取締法施行規則第1条第2号の「農林水産大臣が定めるもの」として、粒状の貝化石肥料及び副産石灰肥料（貝殻を原料とするものに限る。）を追加します。

3 施行時期

令和2年4月1日施行